

令和7年度使用 中学校用教科用図書の調査研究資料 教科（ 技術・家庭 ）種目（ 家庭 ）

調査項目	着眼点	調査の方法
1 学習指導要領 (平成29年告示)	(1)資質・能力の三つの柱（「知識・技能」の習得、「思考力・判断力・表現力等」の育成、「学びに向かう力・人間性等」の涵養）をバランスよく育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資質・能力をバランスよく育むために、どのような構成になっているか。</li> <li>・生活の自立に必要な基礎的・基本的な知識及び技能の確実な定着を図るために、どのような構成上の特徴があるか。</li> </ul>
	(2)各教科等及び各学年相互間の関連及び系統性、発展性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他教科及び教科内容と相互の関連を図るための内容の取扱いや分量はどのようなようであるか。</li> <li>・小・中学校の系統性を明らかにし、中学校段階として、生活に応用・発展できるもの、生活における工夫・創造につながるものになっているか。</li> </ul>
	(3)主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>・問題を見だして、課題を設定し、具体的な実践を通して、課題の解決を目指す一連の学習過程がどのように位置付いているか。</li> <li>・学びを深めるために学習活動や資料として、どのような内容が取り上げられ、分量はどのようなようであるか。</li> </ul>
2 第4次岐阜県教育振興基本計画 (令和6年3月策定) [2024(R6)年度～2028(R10)年度]	(1)「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の興味・関心を喚起し、学習を広げるため、一人一人に応じた学習課題はどのように扱われているか。</li> <li>・異なる考えを組み合わせることでよりよい学びを生み出すため、他者との協働はどのように扱われているか。</li> </ul>
	(2)生徒の学習改善や教職員の指導改善につながる学習評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「生活の課題と実践」の内容はどのように配置されているか。</li> <li>・主体的な家庭実践を促すために、どのような課題例や実践例が取り上げられ、分量はどのようなようであるか。</li> </ul>
	(3)ICTを活用した学習活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・効果的な学習を進めるための二次元コードは、どのような内容が取り上げられ、分量はどのようなようであるか。</li> </ul>
3 印刷・製本等	(1)教科書の厚み、重量	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書の大きさ、重量、ページ数はどのようなようであるか。</li> </ul>
	(2)文字の大きさ、字間、行間、書体、図版等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障がいやその他の特性の有無にかかわらず、生徒に読みやすいものになっているか。（書体、配色、レイアウト等）。</li> </ul>
	(3)上記以外の使用上の便宜	<ul style="list-style-type: none"> <li>・伝統文化、安全、衛生、防災、消費生活、環境に関わるマークの分量や指導内容はどのようなようであるか。</li> </ul>